

第 198 号

発行日：2016年3月1日
 発行人：神 立 秀 明
 〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3
 TEL 代表(025)264-5000
 FAX(025)261-4430
 在宅ケアセンターゆうばえ内



夕映えの会

住民の声

地域でささえあう

袖すり合うも多生の縁

手をつなぎあう

町内会めざして



新中浜
町内会長
倉 林 正 喜

平成23年、前代未聞の町内会長選挙が行われ、町内会長に選ばれました。他の役員さんはじめ、町内の皆さんの知恵と力をお借りして、町内会の刷新に取り組んでまいりました。その取り組みをご紹介します。

新中浜町内会は20班、670余の世帯で構成されています。就任当初、町内会の運営にご婦人方の力は欠かせないと婦人部を立ち上げました。町内会館の運営や資源ゴミの回収に尽力いただいています。

町内会の活動をお知らせする「新中浜だより」は23年9月に創刊、年6回発行し26号を数えます。(H26年1月現在)

新中浜「茶の間」は、町内で友達作りや多世代にわたる楽しく暮らせる地域をつくる目的で、毎月第4日曜日に開催しています。3月にはひなまつり、4月には町内の公園で桜を見ながらの野点など季節にふさわしいイベントをおこなっています。日曜日なら町内の子どもたちも参加できます。

サロン「やさえ愛」は毎週金曜日、町内会館で囲碁・将棋・麻雀などで楽しめます。コーヒーと昼食は婦人部の皆さんが準備、一日中いられます。参加費は300円、昼食代は700円としています。新潟市西区役所の助成金を活用させていただきましたが、平成28年度からは、助成金なしで自力運営となります。

町内には現職をリタイヤされた方々がたくさんいらっしゃいます。様々お仕事をされたその経験を生かさない手はないと、「おたすけ隊」は平成24年発足しました。町内の二つの公園の薬剤散布や側溝掃除の準備、冬の除雪などに大活躍していただいています。

子どもたちの夏休みには、「寺子屋」を開設しています。町内会館で3人から4人の子どもたちを1グループにして、元教員や大学教官の力をお借りしての「特別講座」です。「教科でわからないことがあるか

な？」という「先生」の呼びかけに応えて子どもたちにグループをつくってもらいます。でもさすがはその道のベテラン達、例えば算数なら「君たちが大人になっても覚えておかなければならない大事な数字はこれだよ」と勉強の基本中の基本を教えてくださいます。夏休み明けに西内野小学校の先生方に「子どもたちが変わった！」と感謝されることもあり嬉しい限りです。

私は50歳で早期退職し旅行会社と人材派遣会社を興しました。子どもたちがそれぞれの進路を定めた時期でした。安定した収入を得られる生き方もいいですが、若気の至り、一国一城の主を夢見たわけです(笑い)好きで選んだ道ですから苦労と思いませんでしたが、平坦な道ではありませんでした。その間、私は本当にたくさんの方と出会い、様々な教えをいただきました。それは「人と人とのつながりあいを生かす」その一点かと思えます。

この地域は学校も銀行もコミセンも、そして夕映えさんのような介護施設もある。さらに各方面に造詣が深い皆さんが多くいらっしゃいます。地域の資源は無限であると感じています。



夕映えの会 ボランティア交流会開催される

2月6日、西コミセンでボランティア活動交流会が行われまし
た。家事援助や移動サービスなどの生活支援ボランティア、
ゆうばえ弁当の配食ボランティア、そして月一回の会報を近所
の会員宅に配布するボランティア、総勢28名が参加。日頃のボ
ランティア活動を交流し、さらに発展させることを確認し合
いました。

冒頭、神立会長より日頃のボ
ランティア活動への御礼と新総
合事業への移行で益々ボラン
ティア活動の役割が増大する状
況が説明されました。
続いて配食活動の全体状況に



ついて久住芳保氏が報告。配食
ボランティアの頑張りで夕映え
の手づくり弁当が利用者から大
変喜ばれていることが他の弁当
業者との比較を含めて明らかに
されました。

小川マキ生活支援コーデ
ィネーターからは多様な住民から
の依頼に対し、断らずに多彩な
ボランティアスタッフに繋ぎ、
利用者の期待に応えている状況
が報告されました。

交流懇親は大島松二氏の乾杯
の音頭でスタート。アルコール
が入る中で参加者全員から自己
紹介や活動報告をいただき、有
意義な交流会となりました。最
後に藤澤秀郎氏（配食ボラン
ティア）の閉会のあいさつを受
け散会しました。

「健やガ・ニ・」してます！

第26回 母に寄り添って介護の日々

高橋 小夜子 (道河原)



母は84歳、車の
運転も畑もやり、
そして一家の主婦
。人も羨む「は
つめ」なばあちゃ
んでした。しかし
昨秋、脳出血で倒
れ右半身マヒに
なっていました。

倒れた当初、朦朧とした意識
の中「死ねば良かった」、体調
が安定してきても「死ねば……」
の繰り返し。安どするこちらの
気持ちとは裏腹に、母は絶望感
と喪失感に苛まれ、命を取留め
たことを悔やみ続け私を困らせ
ました。

急性期医療を経て、現在は回
復期リハビリテーション病院で
日々リハビリに励んでいます。
リハビリ病院に移ったばかりの
頃、「自分のことはできる範囲
で、自分でしましょう」の病院
の意図が理解できず、「何にも
できないオレことバカにしてい
る」と、靴下をはかせてくれず
職員がただ突っ立っていたと、
私に泣いて訴えました。自分の
できなさに、これからどうした
らいいのか、心の不安が伝わっ
てくるできごとでした。
「トイレで用を済ませたい」

これが最初の母の願いでした。
この願いに添えてリハのプログ
ラムが立てられ、車いすとベッ
ドへの移乗のためにリハが行わ
れました。現在はトイレでの排
泄はほぼできるようになり移乗
も上手になりました。今後は杖
による歩行のリハが中心です。
一つひとつクリアしていくこと
で母の活動範囲は広がり、同室
の方ともお話をするようにも
なっています。

今、母が最も望んでいること
は、自分のことができるように
なって家で暮らしたいというこ
と。その方向が見えてきて自立
生活ができるように家の改装工
事も決まりました。何とか家で
やっていけそうという希望が母
を元気にしているようです。始
まったばかりの介護生活はまだ
まだ不安だらけ。でも母の希望
に振り回されながら(?) やっ
ていこうと思っています。

『さよこ』がいてくれて良
かった。涙ながらに語った両
親たち。私も「退職してからで
良かった」とつくづく思います。
弥彦・角田を眺め、母を思いな
がら、朝の「田んぼウォーキン
グ」を楽しむ日々です。

施設から発信コーナー

『新年開運餅つき』

1月29日、ゆうばえの家では、

当月の「お茶の間」と合わせ、餅つきを行いました。盛大な「よいしょ」の掛け声に合



わせ、職員が杵つき、「昔は家でついたよね〜」など懐かしむ声の中、お餅がつきあがりました。

ご家族や老人会の方のお手伝いもあり、全員でつきたての美味しいお餅をいただくことができました。やはりつきたてのお餅は最高で、お代わり希望が続



出。「お餅は20年ぶり」という方もいました。

ゆうばえの家では、毎月最終金曜日の午後2時〜4時に「お茶の間」を開催しています(参加費一〇〇円)。年齢を問わず、地域の方どなたでも参加できますので、ぜひ一度いらしてください。

小規模多機能型居宅介護施設

「ゆうばえの家」

管理者 井口 真紀

リレートーク

グループホーム うちの事業所案内 (2) (五十嵐中島3丁目)

『心』の癒しと満足感の支援

私たちグループホームの理念に掲げている認知症でも家庭的な生活を送る為、食事の準備や洗濯、掃除など基



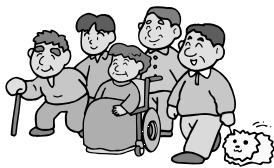
本的には利用者中心に行ってもらい職員がサポート役となり日々を過ごす事で利用者のやり遂げたという満足感を常に提供できるよう支援しております。

また、生活しやすい環境を整え少人数の中で「馴染みの関係」を作り上げる事で生活上の身体能力・心身の緩和を保つよう支援しております。

その為、日々スタッフは1人1人と談話する機会を多く持つように心がけており、会話をすることでその方の「想い」に少しでも応えられ笑顔を引き出せるよう支援しております。

私どもグループホームは、開設して今年で6年目となりますが、これからも認知症ケアの知識の向上に努めていき、地域社会との付き合いを大切にしていきながら活動してまいりたいと思います。

管理者 田井 洋一



芦岡さんの

ご飯ですま〜!

ゆうばえの里 管理栄養士 芦岡 実可子

「れんこんと豚肉のこまみそレンジ蒸し」
「こまとみそのコクが食欲をそとる、手軽にできるレンジ蒸しです。
れんこんを切った時の糸を引く粘り成分ムチンは、胃の粘膜を保護し、消化を助ける働きがあります。」

〈材料〉(5人分)

- れんこん 大1節(300g)
- 豚ロース薄切り肉 150g
- すり白(うま) 大さじ1
- みそ 大さじ1
- はちみつ 大さじ1
- 酒 大さじ1/2
- 三つ葉(4cm長さに切る) 1束(20g)

〈作り方〉

- れんこんは皮を剥いて5cm長さの棒状に切り、水にさらして水気をきる。
- 耐熱皿に①を並べ、上に豚肉を重ねて並べる。混ぜ合わせたAをまわしかけ、ラップをかけて電子レンジ(600W)で4分5分加熱する。
- 三つ葉を加えてさつと混ぜ、器に盛る。



2016
3
ミニイベントの
お知らせ

10日(木) ウクレレ演奏
「遊」岸川成子様他

15日(火) レクダンス
「和の会」の皆様

17日(木) 語り部
「あねさの会」朝妻サワ様他

22日(火) 日本舞踊とマジック
中村マチ様・大塚イシ様

24日(木) 民謡
「梅芳会」の皆様

25日(金) マジックショー
佐々木邦次様

26日(土) いっぺんこと歌おいね
川崎和幸様

31日(木) お抹茶をいただく会
佐々木紀美様他

ケアセンター「ゆうばえ」
デイサービスセンター

とき
午後2時30分より
*お抹茶を頂く会は
午後3時15分より

25日(金) 「お茶の間」
*リコーダーアンサンブル
お抹茶

とき
午後2時より

ところ

小規模多機能
ゆうばえの家

地域の皆さんのご来所をお待ちしています。
ご一緒に楽しみましょう。

第二回 ふれあい茶話会 ご案内

昨年の「ゆうばえの家」(小規模多機能居宅介護)に
続き「ゆうばえの里 ケアハウス」で茶話会を開催します。
施設見学とためになるお話、若返り健康体操があります。

とき 3月12日(土) 午後2時より4時まで
ところ 「ゆうばえの里」ケアハウス食堂

お申し込みは

藤澤 (262-3900) 安藤 (263-2363)
稲越 (262-3400) 小川 (262-1055)
作田 (263-2263) 佐々木 (263-3890)

職員募集

- ・介護職員(夜勤可能な方)
 - ・看護師
 - ・主任介護支援専門員
- お気軽にご一報ください。

(お問い合わせ)

TEL 264-5000
渡辺まで



投稿短歌

職員の扮する鬼に豆なげて
笑いころげる今日は節分

苗岸

玄関のわずかばかりの石段も
人手にすがり杖にすがりて

苗岸

うつくしき姿にも似ぬ白鳥の
声は悲しく空に消えゆく

苗岸

ふんわりと積れる雪にたえかねて
花びら散らす赤き山茶花

苗岸

外国へ旅立ちし 子のフライトの
たび安かれと仰ぐあおぞら

苗岸

本間 スミ子様 より

連絡先一覧

夕映えの会
お弁当配食については
★配食事業部へ
090-1654-9821

生活支援については
★生活支援部へ
090-1431-7996
お気軽にご連絡ください。



生活支援、配食、運転
ボランティア募集

社会福祉法人ゆうえい会
在宅ケアセンターゆうばえ
(代)025-264-5000

ゆうばえの里
ケアハウス 025-264-5715
ショートステイ 025-264-5730

ゆうばえの家 025-264-0808

★介護のご相談はケアプランへ
025-264-5701

編集後記

「三寒四温」とは云いますが、厳しい寒
の戻りが続きました。膨らみかけた梅の
つぼみも気の毒そう…。と思いきや一転、
高温注意情報。やはり異常気象の影響で
しょうか。ともあれ弥生三月と聞くと、
やはり心弾みます。さて二面「住民の声欄」
地域でささえあうシリーズでは、新中浜
町内会長の倉林さんに登場していただき
ました。生まれも育ちも肩書も違うけれ
ど、「人と人がつながりあってこそ町づく
り」はご明察です。夕映えの会は地域の
みなさんに学びながら、一緒にまちづく
りをすすめたいと念願しています。
(M記)